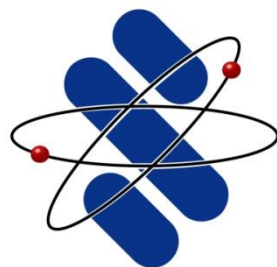


**2019年3月期第2四半期累計期間
業績レビューと見通し**



2018年10月31日

株式会社 昭和システムエンジニアリング

目次

会社概要	3
2019年3月期第2四半期累計期間業績レビュー		
1 業績概要	5
2 経営成績	6
3 業種別売上	7
4 業績推移(過去5年)		
(1)全社	8
(2)セグメント別業績推移	9
5 貸借対照表	10
2019年3月期 業績見通し		
6 対処すべき課題の進捗状況	12
7 2019年3月期業績見通し	13

社名	株式会社昭和システムエンジニアリング (Showa System Engineering Corporation)
所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号
設立	1966年4月（昭和41年）
資本金	6億3,050万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ 情報システムの開発・ システムインテグレーション・サービス・ 情報システムの開発・運用に関するコンサルティング・ B P Oエントリーサービス
社員数	437名（2018年10月1日現在）
発行済株式数	4,810,000株
株主数	1,286名（2018年9月30日現在）

2019年3月期第2四半期累計期間

業績レビュー

1. 業績概要

売上高

3,036百万円

(前年同期：3,153百万円)

営業利益

266百万円

(前年同期：277百万円)

四半期純利益

185百万円

(前年同期：189百万円)

経済動向

- わが国経済は、企業収益及び雇用・所得環境の改善傾向が続き、好景況感基調を維持している
- 世界経済は、米国の経済政策を背景にした貿易摩擦リスクの懸念が生じるなど不透明感が存在し、先行き慎重な対応を要する

情報サービス産業の動向

- デジタルトランスフォーメーションの伸展とともに、次世代を担う人材の育成への期待と、新しいテクノロジーによるビジネスサービスへの対応が求められている

当社の動向

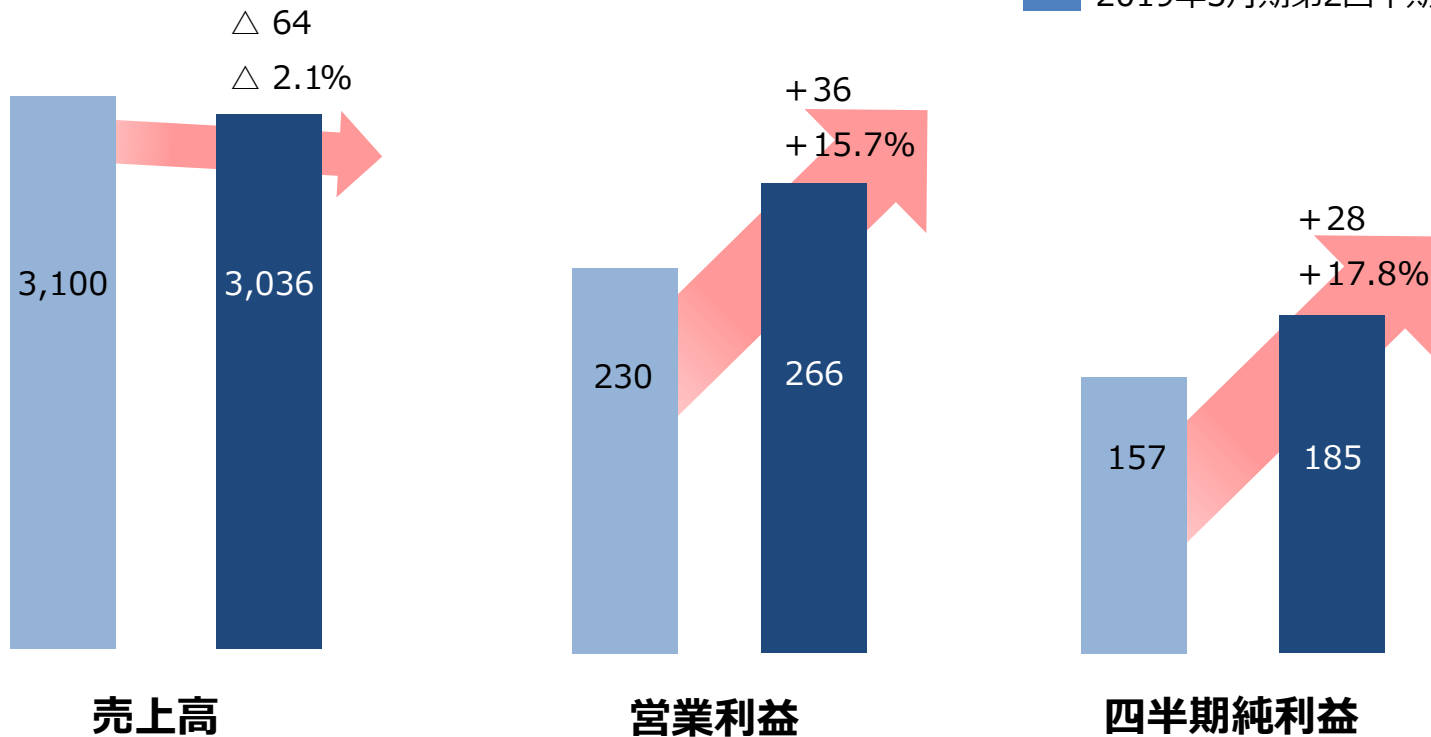
市場動向を鑑みた経営資源の計画的有効活用による生産性の向上に努める一方、デジタルビジネス拡大に向けた市場調査及び最新テクノロジーの活用によるサービス創造等の強化実施に注力

2. 経営成績

- 当期期初予想値（5月11日公表）に対し、
わずかながら減収も増益を達成

(単位：百万円)

■ 期初予想
■ 2019年3月期第2四半期

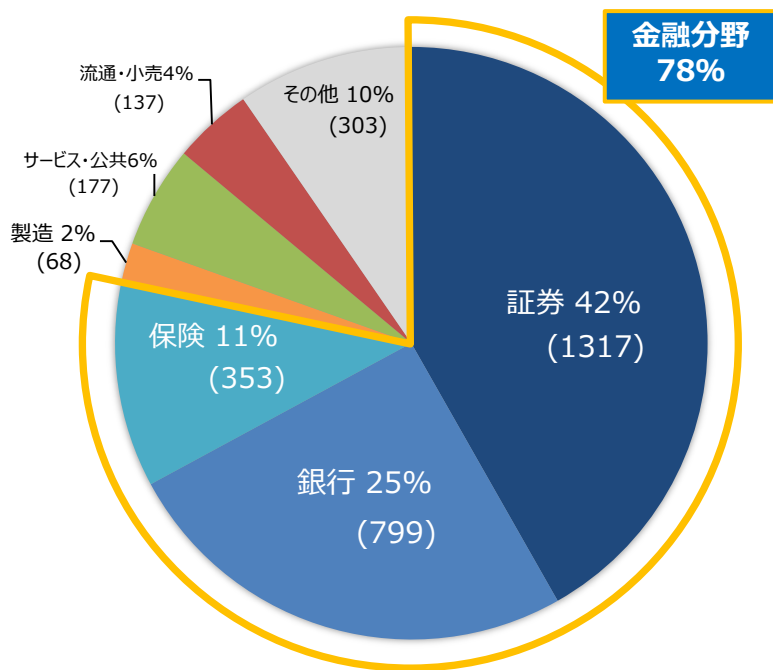


3. 業種別売上

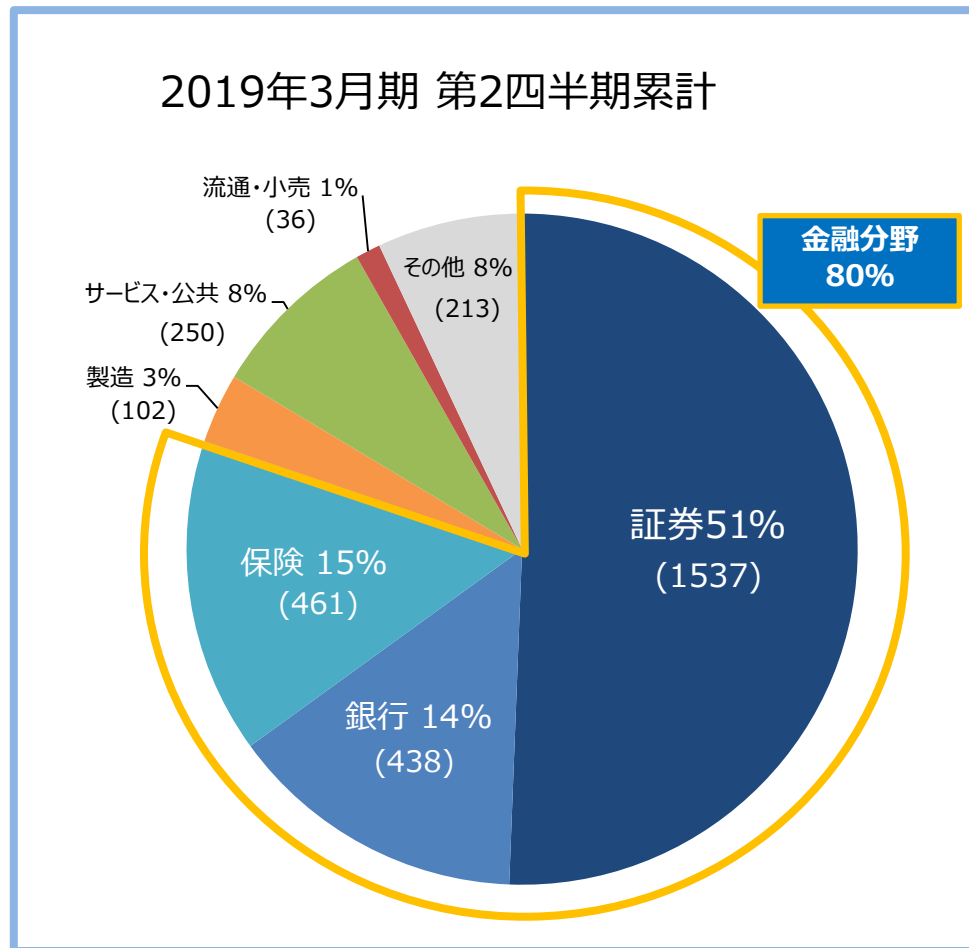
● 金融分野で概ね80%を維持

()内の数値は売上高
(単位：百万円)

(前年同期)
2018年3月期 第2四半期累計



2019年3月期 第2四半期累計

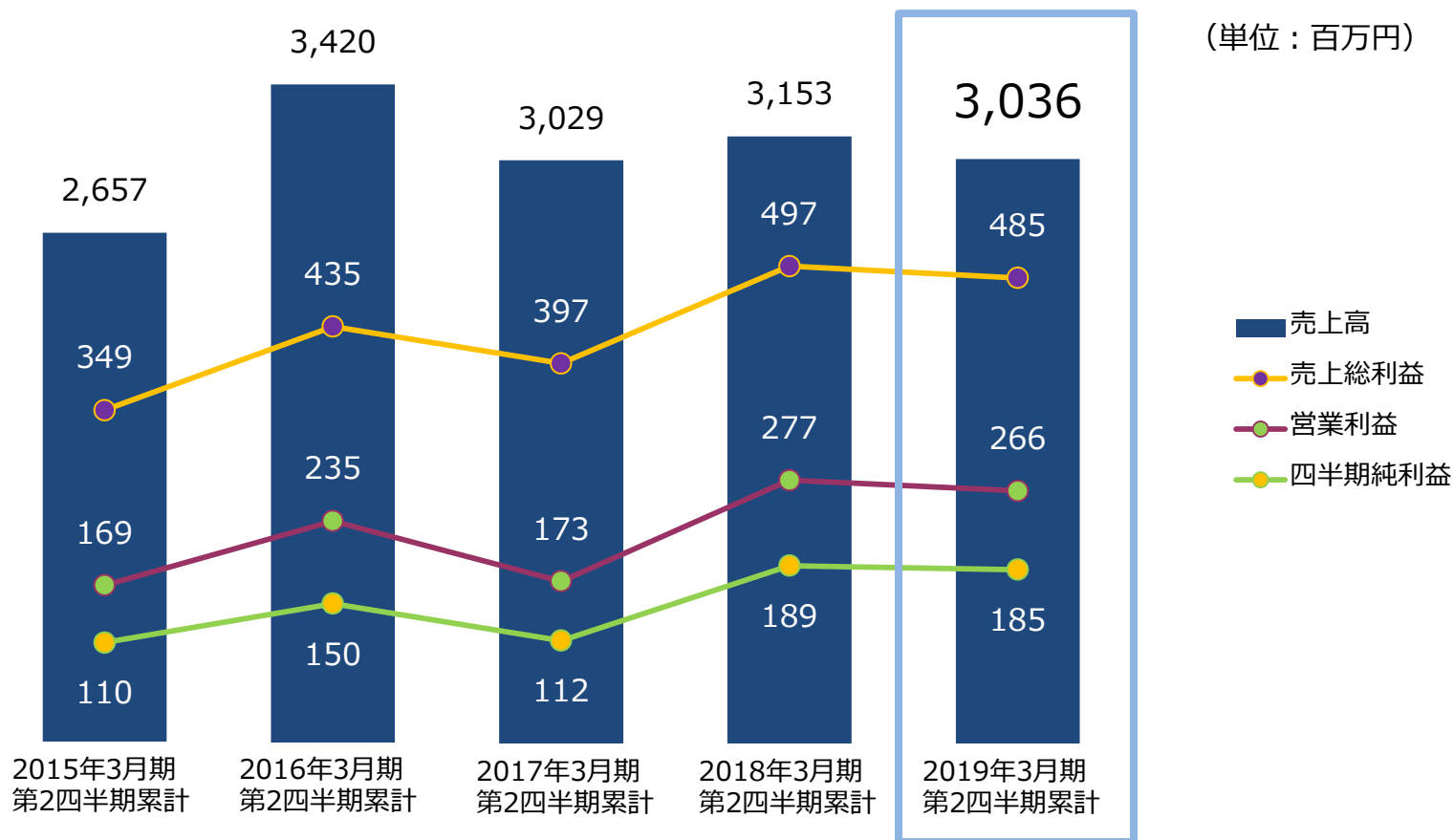


4. 業績推移（過去5年）

“Knowledge Integrator”

● 過去5年を通じ堅実な業績で推移

(1) 全社

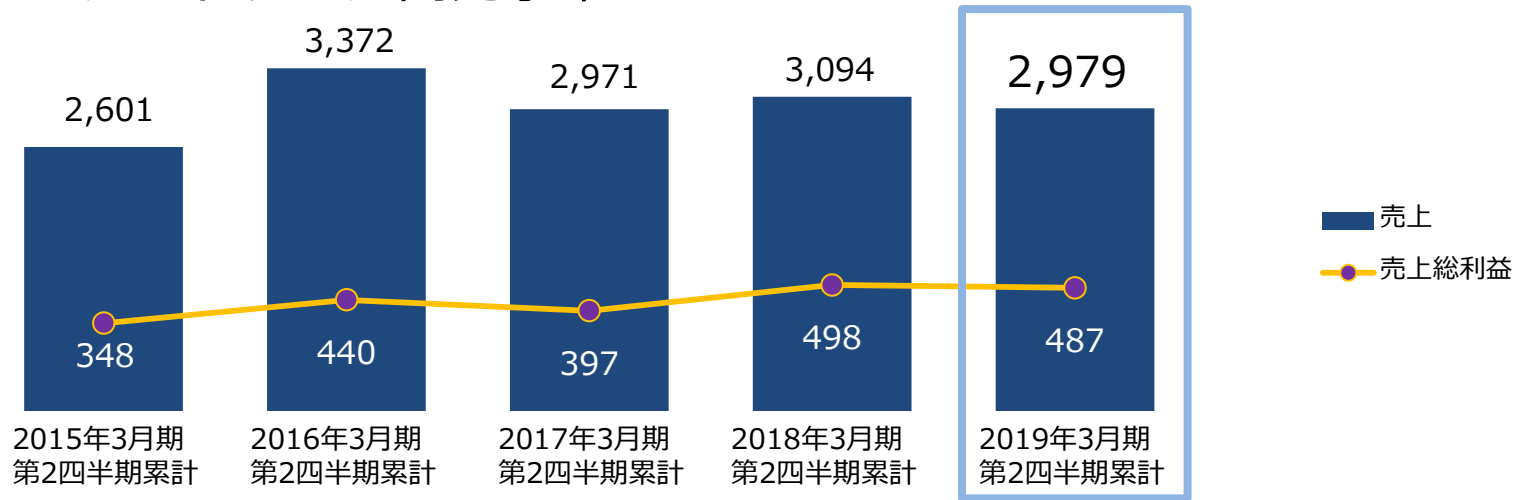


4. 業績推移（過去5年）

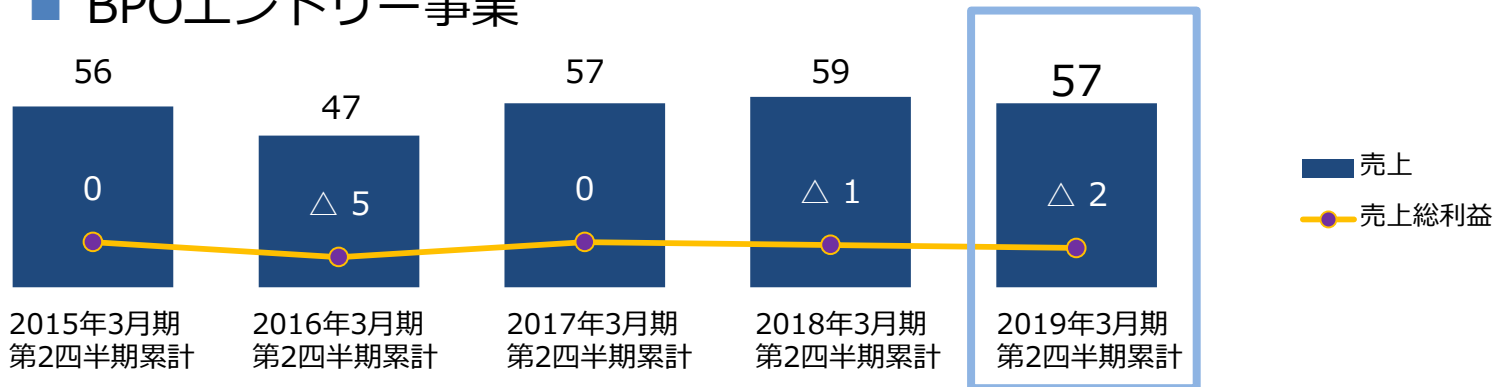
(2) セグメント別業績推移

■ ソフトウェア開発事業

(単位：百万円)



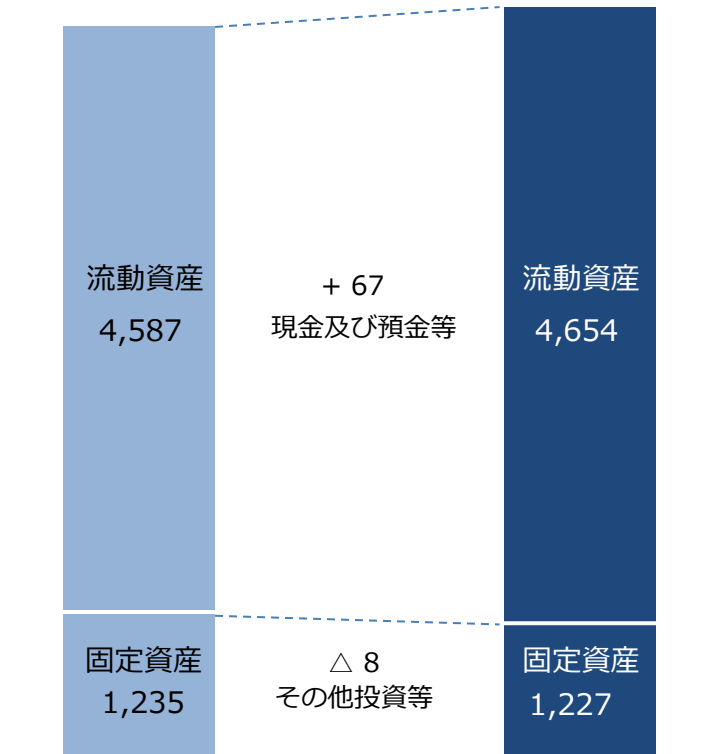
■ BPOエントリー事業



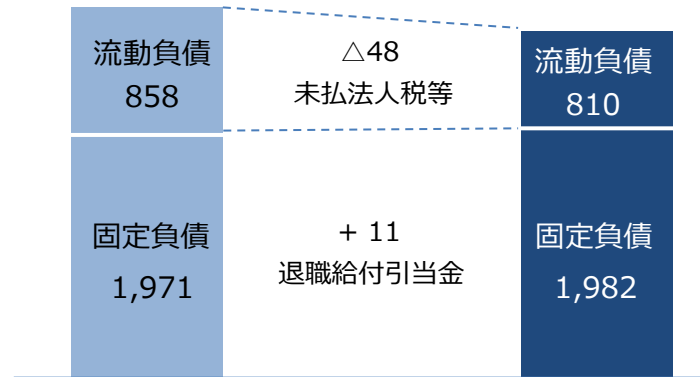
5. 貸借対照表

(単位：百万円)

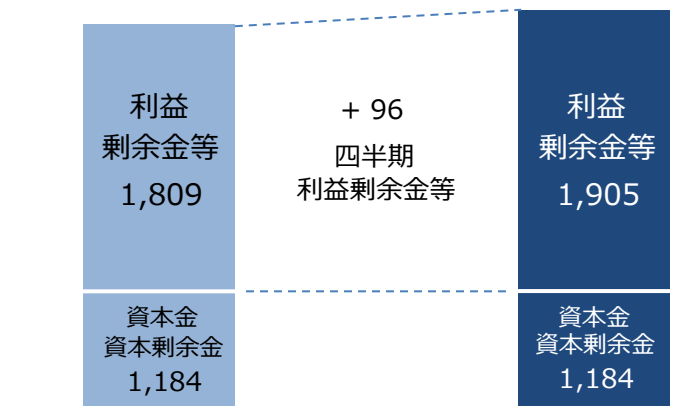
資産の部



負債の部



純資産の部








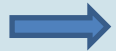




2018年3月期 期末
 2019年3月期 第2四半期末

2019年3月期

業績見通し

6. 対処すべき課題の進捗状況

“Knowledge Integrator”

対処すべき課題	年度施策	進捗状況	下期
1.ナレッジ型 ビジネスの 深化と拡大	<ul style="list-style-type: none"> 証券分野に資源を集中 提案型ビジネスを積極的に展開 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りに資源集中を遂行 提案型ビジネスタスクチームを中心に組織横断の取り組みを推進 	
2.ファクトリー型 請負ビジネスの 推進	<ul style="list-style-type: none"> 当社の持つノウハウを最大限に活用 ビジネスを拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスは順調に推移 更なるビジネス推進に向けて、営業活動を強化 	
3.デジタルビジネス への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> デジタルビジネス領域への参入拡大に向けて新組織を立ち上げ 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客への提案活動を推進 タスクチームを中心にデジタルビジネス企画・立案に注力 	
4.技術者の育成	<ul style="list-style-type: none"> 新卒採用強化、戦略的な人材育成 イノベーション創出を担う次世代高度IT人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代高度IT人材育成に注力 採用計画達成に向けて活動を継続 	
5.採算管理体制の 維持・強化	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの監視・支援体制を強化 	<ul style="list-style-type: none"> 施策が有効に機能し、不採算案件抑制に寄与 	

引き続き上記施策に注力

7. 2019年3月期 通期業績見通し

(単位：百万円)

	(前年同期) 2018年3月期実績	公表値（5月11日）から変更ありません	
		2019年3月期 通期予想	
		通期予想	前年同期比
売上高	6,077	6,200	123
営業利益	457	470	13
経常利益	465	477	12
当期純利益	321	322	1



株式会社 昭和システムエンジニアリング

(注意)

本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び判定に基づき算定しております。

従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は予想数値と異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。